

Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2016年3月24日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2016年3月4日～2016年3月18日) ※単位は円

	3月4日	3月11日	3月18日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	13.24	13.32	13.36	0.9%
スウェーデン・クローナ	13.31	13.54	13.59	2.1%
デンマーク・クローネ	16.68	16.99	16.88	1.2%
ユーロ(フィンランド)	124.40	126.76	125.78	1.1%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2016年3月4日～2016年3月18日)、北欧4カ国の通貨は対円で上昇しました。

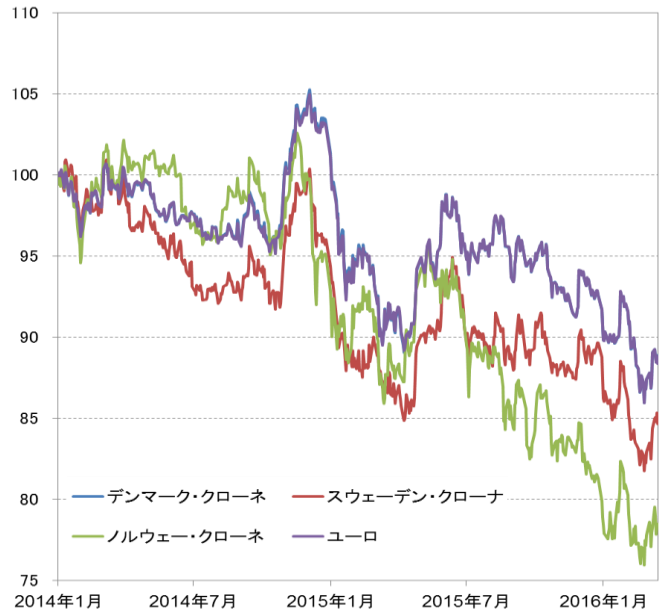
ノルウェー・クローネは、17日にノルウェー中央銀行が利下げを決定しましたが、原油価格の回復を受けて上昇しました。また、ユーロはECB(欧州中央銀行)が10日に政策金利の引き下げ発表を受け、一時的に主要通貨に対して下落しましたが、ドラギECB総裁が追加的な利下げに否定的な見解を示したことで、ユーロ買いが進みました。

※デンマーク・クローネは、ユーロにペッグされているため、ユーロとほぼ同様の動きとなっています。

対円レート推移

(2014年1月6日～2016年3月18日)

※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2016年3月4日～2016年3月18日) ※単位は%

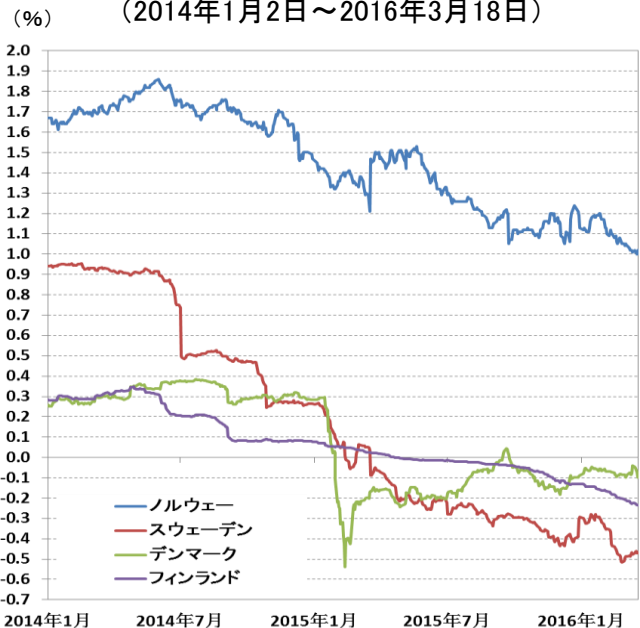
	3月4日	3月11日	3月18日	期間中変動幅
ノルウェー	1.040	1.010	1.020	-0.020
スウェーデン	-0.486	-0.476	-0.469	0.017
デンマーク	-0.085	-0.040	-0.098	-0.013
ユーロ圏(フィンランド)	-0.215	-0.225	-0.235	-0.020

期間中(2016年3月4日～2016年3月18日)、北欧4カ国の通貨は対円で上昇しました。

ノルウェー銀行間取引金利は、17日にノルウェー中央銀行が政策金利を過去最低の0.5%に引き下げたことを受けて、低下しました。スウェーデン銀行間取引金利は、ECBが利下げを含む追加金融緩和に踏み切ったものの、市場ではスウェーデン国立銀行は追加の利下げを行わないとの見方が強まっていることを背景に、上昇しました。また、同国の2月のインフレ率が中銀の予想を上回ったことも金利上昇の要因となりました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2016年3月18日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

<ノルウェー：過去最低の0.50%へ利下げ>

ノルウェー中央銀行は、3月17日、予想通りに主要政策金利である翌日物預金金利を0.25%引き下げ、0.50%に設定することを発表しました。利下げは2015年9月以来、3会合ぶりとなります。今回の利下げの背景には、原油価格の低迷などによるノルウェー経済の減速があります。オルセン中銀総裁は、「ノルウェー経済の見通しはやや弱含んでおり、インフレ率はさらに抑制されることが予想される。」と述べており、加えて、「年内のさらなる政策金利の引き下げの可能性とともに、ノルウェー経済が深刻な危機にさらされれば、マイナス金利導入の可能性を排除しない方針である。」と言及しました。中銀は、「原油の下落は同国経済には脅威となり、金融政策の不安定性が高まっている。」としたうえで、「政策金利の設定には慎重な取り組みが必要である。」との認識を示しています。現状のノルウェー経済を考慮すると、年内の一段の利下げが必要になると見ていますが、ECBやスウェーデン、デンマークなどでは既にマイナス金利が導入される一方で、ノルウェーは巨大な政府年金基金を背景に財政政策による支援が可能であり、金融政策以外にも手段を講じることが期待されます。

<フィンランド：フィッチが同国格付けを引き下げ>

大手格付け会社フィッチ・レーティングスは、3月11日に、フィンランドの格付けを最上級の「AAA」から「AA+」に一段階引き下げました。格付け見通しは、「ステーブル(安定的)」としました。フィッチは、「フィンランドの2015年実質GDP(国内総生産)成長率は0.4%と欧州ではギリシャに次いで2番目に低く、一部で若干の需要回復が見られるものの、引き続き、経済の状況は弱いままである。」と述べ、また、同国の実質GDPは2020年まで金融危機前の水準に回復しないと予想しています。フィッチは1998年からフィンランドに最上級格付けを付与してきましたが、大手格付け会社のスタンダード・アンド・プアーズ(S&P)が2014年10月に「AAA」から「AA+」に引き下げた後、2015年3月に見通しを「ネガティブ(弱含み)」に変更していました。

<スウェーデン：スウェーデンで最も著名な女性実業家が辞任>

スウェーデンで最も著名な女性実業の一人、投資会社大手であるKinnevikのCristina Stenbeck会長は3月11日に自身の辞任を発表しました。会長職の後任には、2011年より同社の役員を務めているTom Boardman氏が就任する予定であり、Stenbeck氏は、今後、非業務執行役員として会社をサポートしていきます。父親であるJan Stenbeck氏が2002年に死去した後には会社の経営権が親族へ承継され、Stenbeck氏は2007年に同社の会長に就任しました。Kinnevikは、モバイル通信やメディア事業体を主な投資対象としていましたが、Stenbeck氏の下、電子商取引や他のオンラインサービス事業へも投資先を広げ、さらなる成長を遂げました。Stenbeck氏は、2007年に米国の経済雑誌「Fortune」の「世界で最も影響力を持つ女性50人」の一人に選ばれるなど、外部からも高い評価を得ています。今後は、起業家として異なる分野で新しい事業を始めることに専念すると述べています。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2016年3月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。